

令和元年度 第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会会議録（要旨）

日時 令和元年11月1日（金） 午後2時開始 午後3時30分終了
場所 高岡の森弘前藩歴史館 映像・講話室
出席者 瀧本 壽史 委員長（議長） 小山 伸吉 委員
葛西 修造 委員 小嶋 義憲 委員
堀 智慧 委員 （5名）
欠席者 島内 智秋 副委員長
事務局 館長 成田正彦 館長補佐 石岡博之 主幹兼運営係長兼学芸員 鶴巻秀樹
(3名)

次 第

案 件

- (1) 平成30年度事業報告について
 - (2) 令和元年度事業経過報告について
 - (3) 令和2年度事業計画について
-

議長（委員長） それでは、会議を進めてまいります。
本日の出席委員は5名であります。過半数ですので、会議は成立いたします。
案件の審議に入ります。案件の（1）平成30年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき事務局より説明】

葛西委員 観覧者数の目標が24,000人で、実績87%、20,932人を、事務局ではどう評価していますか。

事務局 目標設定時は、歴史館が建設中であったため、直近の平成28年度の市立博物館の観覧者数と同数としました。目標には届きませんでした。市の中心部から離れた立地環境を考えると、及第点ではないかと評価します。

小嶋委員 問題は、段々少なくなっていく入館者をどうすればいいかです。

事務局 確かに段々落ちてくるのは致し方ないことだと思いますが、五年に一回くらいは、特別展的なものが出来ればと考えています。

小嶋委員 外部から資料を借りて来るためには、例えば施設が出来てから何年経過していなければいけないという、縛りみたいなものがあるのではないですか。

事務局 施設の環境としては、空気環境測定で概ね問題ない数値が出ており、文化庁からも重要文化財展示の了承を得ております。ただ博物館の格として、登

録博物館への登録も重視される場所ですので、県と協議しながら手続きを進めていく場所です。

議長 次に、案件（2）令和元年度事業経過報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき事務局より説明】

葛西委員 外国人の来館状況はどうでしょうか。

事務局 外国人観覧者は平成30年度は57人、今年度は9月末現在で35人です。いらしてる国の方も多岐にわたりますが、大抵通訳の方を伴っています。

小嶋委員 外国人がだんだん増えてくる気がします。彼らにも最低限の物は分かるようにしておかなければ、せっかく来たのに申し訳ない。

事務局 そもそも展示の内容自体が外国語表記になっていないという問題があります。特に壁面と一体化したパネルの外国語表記対応は、ある程度年数が経って、リニューアルの時期になろうかと思えます。

議長 市立博物館での対応はどうでしたか。

事務局 市立博物館では常設展示のリーフレットを4言語で作って配布しています。ただし、歴史館では企画展が主で毎回中身が変わるため多言語対応は難しいと思えます。

議長 資料ごとにその都度、訳を作って貯めていくしかないのかなと思えます。

事務局 来年はオリンピックで外国人も増えてくる可能性もあるので、出来れば今の冬の間誰にでもわかる日本語を英訳してもらって、簡単な解説板を置ければと思えます。

事務局 津軽の歴史を改めて英訳するというのは難しいので、刀であるとか、翻訳の実績のある部分から少しずつ英訳することが考えられます。

議長 努力している部分を少しずつ見せるのは必要かと思えますので、他の施設を参考にして少しずつ増やしていくということで検討してみてください。他はどうでしょう。

小山委員 コンサートは来館頻度を上げるキーになります。コンサートの内容も非常に理知的だし、当然口コミ等の効果も期待できると思えます。

小嶋委員 コンサートを含めイベント開催の際には、やはり琵琶とか、お茶とか、津軽の歴史に関するものをもう少し深めてみればいいという気がします。

事務局 まずは歴史館を知ってもらって来ってもらうには幅広いイベント等も必要かな

と思います。その上で、津軽の歴史や文化を知ってもらうという風にシフトする方がよいのではないかと思います。

議長 小嶋委員がおっしゃったように、展覧会に関係しているイベントの実施の検討はいかがでしょう。

事務局 伝統芸能関係等いろいろなところにお声掛けしたのですが、歴史館の立地条件等もあり、なかなか実施には至りませんでした。

議長 イベントについては、昨年度よりも参加者数が増えていますので、これから入館者を増やすいい切り口になっていくのかなと思います。
また、今年は大きな目玉がひとつ、図録作成というのがあります。

事務局 お客様からは、刀剣類も含めて、ある程度良い写真が載って、説明がきちんとされている物が求められていると思います。それに見合うような図録の編集発行を目指していきます。

議長 次に案件（3）令和2年度事業計画について説明をお願いします。

事務局 **【資料に基づき事務局より説明】**

事務局 小中学校の利用を図っていければと思っておりました。市内のほとんどの小学校で5年生が岩木のスポーツセンターで宿泊体験しています。そのうち歴史館もコースに入れていただいた学校は、1、2校くらいだったので、もっと寄ってもらえるように、学校側へ情報を細かく提供して行きたいと思っております。

議長 学校の児童生徒が歴史館に来る意味が何なの、というところなんですよ。ここは授業の中で来る必然性がないと来ないと思うので、意味を作り学校側に伝える必要があると思います。

小山委員 ここにはこういうものがあるんだよ、だから小中学校の時に見ておいて無駄にはならないよと、十のうち一人でも二人でも記憶に留めておく子がいるんだったら、それを推進すべきだと思います。

小嶋委員 津軽の歴史については、教科書には当然出てきません。「弘前の歴史」という副読本をどういう風に活用するか、その時間があればここに来る意味もあると思います。

議長 5、6年生では授業に歴史が入るので、ターゲットをどこに持ってくるかですよね。教科書をちゃんと見たうえでアプローチを掛けないと、来てくださりだけはいけないと思います。

事務局 今、教育委員会では、ひろさき卍学で地元の郷土史も教えています。その面では、ここにどんな価値があるかを考えれば、宿泊学習等で岩木のスポーツセンターに行く途中で簡単に寄れる場所でもあるので、歴史館の必要性を

PRしていければと思っています。

議長 そういう意味で、原資料を見せるとか触ってみるとか、そういう体験も含めてあればいいですね。

堀委員 子ども用のキャプションなどが必要になってくるのかと思います。キャラクターを利用するなど見やすい分かりやすいようなキャプションから、見に来たという経験や、ここが楽しかったという記憶が残って、また来たいと思ってもらえると思います。

事務局 基本情報、高度な説明、そして平易なもの、確かに、キャプションを3段階ぐらい作っている館もあります。それらを参考にしながら、なるべく易しく解説するようなキャプションを検討していきたいと思います。

小山委員 お願いではなく申し出ですが、企画展のデータをいただければ、岩木山観光協会のサイトに貼ります。サイトのヒットの数はものすごく多いです。近場の温泉や旅館にも掲載を勧めていますので、どうぞご利用ください。

小嶋委員 むしろ積極的にそういう人達に情報発信して、利用してもらえれば、旅館も歴史館にも双方にメリットになると思います。

議長 歴史館だけにではなく、全体に人を集めるという流れはいいと思います。歴史館でもアンケートでそういう情報を持っているんじゃないですか。

事務局 イベントの際のアンケート結果ですが、実は市外の方で一番多いのはロコミです。

堀委員 ウェブサイトではなくロコミですか。

事務局 またチラシの紙媒体もかなり有効です。65歳以上の市内の方は広報ひろさきでイベントを知ったというのが一番多いですが、3回コンサートをやって市外の方が増えてきています。やはりその中で多いのはロコミなので、いろんな媒体を使って周知するのはかなり有効だと思います。

小山委員 フェイスブックイコールロコミですから。

議長 テレビコマーシャルよりそちらを見るというように、ここからここへというネットワークを作っていくことが必要になってきていますからね。
来年度、イベント、講座については今年度成果が出ているので継続ということですが、プラスアルファなところで意見をもらいたいと思います。

小嶋委員 弓道大会は昨年も実施していましたか。

事務局 実施していません。遠的大会等出来るのではないかと考えています。

小嶋委員 流鏝馬を今後も継続するなら、観覧席があればいいと思います。足元が危

なくて見るのに苦労していると感じます。

事務局 確かに活用は大事ですが、あの景観を崩すわけにはいかない所もあります。

議長 馬場を使いたい場合は、使用料金等の規則というものはあるのですか。

事務局 一時間単位で金額を定めています。なお電気等の設備はありません。

事務局 サッカーをするという案もありましたが、一方が林だという事と、着替えやシャワー等の施設がない事で、そういうスポーツは実施が難しいのかなと思います。

事務局 馬場の広い砂場で何か出来ないかと思っています。例えばサンドアートなど、美術専攻の学生に作品を作ってもらおう等、いい活用になっていくのかなと思います。

議長 あと、来年度の展覧会の関係でご意見はありますか。

小嶋委員 大道寺一門らが高照神社に奉納した、津軽で活躍した文化人たちの和歌があります。あれを活用するか、和歌をテーマにした展示を行うといった形で紹介して欲しいです。和歌、短歌を研究している方には、非常にいい研究の材料になると考えています。

議長 4月からの「お殿様たちの書画」展が7月まで3か月続きますが、展示の入れ替えるはあるのですか。例えば会期を半分に分けるとかですね、その辺りは考えたのでしょうか。

事務局 来年は9月の連休の他に、7月にもオリンピック関係で連休があり、両方絡めて、一番人が来るであろう刀剣展をその期間とし、この日程になりました。展示替え期間が2週間ありますが、外部から借用した資料など貴重な資料を運び展示する際には、慎重な作業が求められますので、これ以上展示替え期間を短くするのは難しいです。また現状の学芸員2人では、調査研究を踏まえて4つの展覧会をする中で、一つの展覧会を2つに分けるとなると、展示業務の比重が大きくなり他の事務がおろそかになることが懸念されます。

小嶋委員 提案があります。実は二唐家に、二唐國俊さんの伊勢神宮の式年遷宮の時の刀剣三本の内一本があります。直刀です。あれもひとつ目玉になると思います。

議長 あと、グッズの方はどうなっていましたか。

事務局 絵葉書やクリアファイル等、予算の範囲内で作成販売出来ればと思っています。

事務局 博物館のように後援会があればグッズ作成等は動きやすくなると思いま

す。

葛西委員 高岡町会でも、後援会を作っていけばやりやすいという事は話しています。やはり町会としても、除雪や馬場の草刈り、清掃など、歴史館に関わっていくんだという気概は盛り上がってきていました。

事務局 ありがとうございます。

議長 いや、いいことですよ。高岡の集落が出来て300年になるんですよね。集落の人が守り続けてきたというその伝統と継続性は本当に大きいわけですよ。神社でも支える人がいて初めて成り立っている。来年度ちょうどいい機会なので、300年記念後援会を立ち上げてもいいと思います。

葛西委員 組織を立ち上げることは、町会の人としては難しいと考える人もいるかもしれないが、歴史館と協力してやっていければと思います。

議長 歴史館の隣の高照神社には、初詣の参拝者というのも結構あるんですよね。

事務局 あると思いますが、歴史館の条例上の休館が年末年始で、それを含めて展示替えの期間にしています。働き方改革といった時世柄、なかなか1月1日に歴史館を開けるとするのは難しいのかなと思います。

事務局 実際、市立博物館では何年か前に、年末年始の開館を何年か続けたことがありました。観覧者は全くゼロではないですが、かといって多くはなかったです。

事務局 1月1日に必ず歴史館を開けるとするのは、職員だけでなく、清掃員も含めて、対応はなかなか難しいと考えます。

議長 来年度の事業計画についてもよく分かりました。入館者数で評価されるとなかなか厳しいところがあるので、入館者数だけではなく、イベント参加者も含めた利用者数で評価してほしいと思います。今日出た意見については是非前向きに進めていただければ大変ありがたいなと思います。これで令和元年度第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会を終了いたします。